

## キャンプディレクター2級養成講習 募集要項



主 催: YMCA総合研究所(大阪YMCA)  
後 援: (公社)日本キャンプ協会  
日 程: レポート課題 2026年6月8日(月)より随時発送  
オンライン学習 2026年6月8日(月)~7月3日(金) 期間内いつでも受講可能  
集合講習 2026年7月11日(土)9時開始~12日(日)18時終了予定  
会 場: 六甲山YMCA [〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲875](tel:0657-0101)

対 象: 有効なキャンプインストラクター資格をお持ちの方で以下の受講要件を満たしている方  
受講要件: キャンプインストラクター資格取得後

・アウトドア活動参加経験2回以上 ・1泊以上のキャンプ指導経験1回以上

定 員: 18名(最少催行6名) 先着順

受講料: 24,000円 別途「キャンプディレクター必携」第3版 2,200円(税込)の購入が必要です。

登録料: 11,000円 日本キャンプ協会から合格通知受領後に各自で支払いが必要です

資 格: すべての講習を満足に修了し修了試験に合格され登録手続きを完了した方は、キャンプディレクター2級資格を取得することができます

申込締切: 2026年4月17日(金)17時 申込時にキャンセル規定をご確認ください

申し込み: [お申し込みフォーム](#)または(QRコード)よりお申し込みください。

問い合わせ: [outdoor-training@osakaymca.org](mailto:outdoor-training@osakaymca.org) または080-9064-4325(公用携帯)



### キャンプディレクター2級とは

- キャンププログラムの企画・立案から、実際の運営管理、実施後の評価までを実務的に担う「現場のリーダー」を指します。
- インストラクターへの助言や安全管理の徹底など、キャンプ全体を円滑に動かすマネジメント能力を備えた指導者です。

### YMCA総合研究所が実施する講習の特徴

- 多角的な専門指導: 野外教育・環境倫理・救急法の各資格認定を担うエキスパート講師陣が、多角的な視点から高度な知見を伝授します。
- 組織キャンプの知恵を凝縮: 大阪YMCAで長年培われたキャンプの企画・運営・指導のノウハウを体系化。現場で即戦力となる深い洞察力を養います。
- 環境倫理の国際基準: 環境倫理プログラム(Leave No Trace)を体験し、ワークショップ修了証を取得できます。
- 一貫したキャリアパス支援: 受講後も上位資格(D1)へのステップアップを徹底サポート。指導機会の提供や専門講習の案内を通じて、継続的な成長を支えます。

### 本講習は

事前オンライン + 1泊2日集合講習のハイブリッド型で実施します。効率的かつ実践的な学びを提供します。

- スマートな事前学習: 規定の事前課題レポートに加え、オンデマンド形式のオンライン講義により、集合講習前に必要な理論をじっくりと習得できます。

- 週末完結型スタイル：週末の1泊2日で実習を凝縮して行うため、お忙しい方でも無理なく受講できる環境を整えています。

## 内容

- テキスト「キャンプディレクター必携」（第3版）を用い、日本キャンプ協会事前レポート課題40時間、オンライン学習と実講習で20時間学習します
- レポート課題 40時間（日本キャンプ協会が提供する教材で行う内容）  
全ての科目が含まれています。※講習会前に送付 解答を済ませて講習会受付で提出
- オンライン学習+実講習 20時間  
キャンプディレクター1級・2級共通（はじめに）  
キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセリング  
プログラムの安全管理  
プログラムのマネジメント（企画・運営・評価・改善）

レポート課題、オンライン学習をふまえ、プログラムの企画立案とプレゼンテーション、模擬運営、評価をおこないます。

## アクセス

- 最も便利なアクセスは自家用車になります
- 公共交通機関をご利用の場合は、阪急六甲駅からタクシーの利用をおすすめします
- バス・ケーブルカーをご利用の場合は、阪急六甲駅から乗り継ぎます。  
時刻表、料金などは各自で検索してください  
バス16系統→六甲ケーブル→徒歩／山上バス（丁字ヶ辻バス停下車・徒歩）→六甲山YMCA

## 撮影について

講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、Leave No Trace Japan、Wilderness Education Association Japanの広報に利用する場合があります。

- 受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- 講習の全録画、全録音、リアルタイムでのSNS等アップは禁止します

## ルールとマナー

- 講習会中は終日禁煙です
- 講習会中の外出は原則できません
- 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

## 宿泊

- 宿泊はテント泊になります。テント、寝袋、マットを貸し出します
- お持ちの方は持参いただきご利用いただくことも可能です

## 入浴

- 近隣の温泉を利用します。入浴料480円は各自でお支払ください。
- シャンプー、ボディーソープ等は持参してください。温泉施設につき備え付けはありません。

## その他

- スマートフォン等電波状況は ドコモ○ au○ Softbank△です。

- 周辺には小さな商店が1軒ある以外、コンビニエンスストアなどはありません
- 集合講習の準備、講習中の行動はLeave No Traceの7つの原理を参考にします。

## 食事

野外生活技術の習得とLeave No Traceを実践する機会として、食事はすべて持参・ソロクッキングです。

- 1日目昼食(飲み物含む)は、弁当と飲み物を持参してください
- 1日目夕食、2日目朝食、昼食はソロクッキングでの自炊となります
- 3食分の食材、調味料等全て持参してください。
- シングルバーナー、コッヘル(1~2人用の鍋)を貸し出します  
持参して自分のものをご利用いただけます
- シングルバーナーガスカートリッジは有料(660円／1缶)となります

おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。なるべくコッヘル1つで調理できると良いです。お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけはご遠慮ください。

- 水道はあります／水汲みには持参するナルゲンボトル等を利用してください
- 保冷が必要な食材は、施設内冷蔵庫をご利用いただけます。記名したビニール袋などをご準備ください
- お茶、コーヒー等の飲み物はご持参ください。持参する食材と同じく、ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください

食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画をご覧になる等参考にしてください。「山飯」等で検索すると他の情報を得られます。

## ゴミを出さないために

- #3キャンプゴミの処理 キャンプでゴミを出さない処理の方法 

## 参考メニュー

- トマトソースパスタの作り方 
- ホワイトソースパスタの作り方 
- パンの作り方 
- おかゆの作り方 

持ち物

	品目	備考 LNT7原則1 事前の計画と準備
	テキスト「キャンプ指導者入門」	
	テキスト「キャンプディレクター必携」第3版	
	帽子	
	Tシャツ(半そで、長袖)	
	長ズボン	
	靴下	
	靴	
	リュックサック(小)	
	雨具(上下セパレート)	
	ヘッドライト	両手が使えるヘッドライトが望ましい
	ロープ(長さ2m,太さ6mm以上)	
	軍手	多用途 綿100%が望ましい
	防寒着	会場の標高は760m程です
	筆記用具	
	スマートフォン	
	タオル	
	洗面・入浴用具	
	ビニール袋45l、チャック付きビニール袋	荷物の防水、食材の保管等用
	1l以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルが望ましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ(ライター)	ソロクッキング用
	布巾、雑巾	ソロクッキング用
	ナイフ(調理用)	ソロクッキング用
	まな板	ソロクッキング用
	はし、フォーク、スプーン	ソロクッキング用 使い捨てでないもの
	ゴムへら	ソロクッキング用
	食器(お皿、お椀など)	ソロクッキング用
	弁当(1日目昼食)	
	自炊食材・調味料(夕・朝・昼3食分)	前述の資料を確認の上ご持参ください
	保険証	
	受講料(24,000円)、テキスト代(2,200円)	合計 <b>26,200円</b> ※現金のみ お釣りのないように
	ガスカートリッジ代(660円)	利用者のみ ※現金のみ お釣りのないように
	温泉入浴料(480円)	
	シングルルバーナー、ガスカートリッジ、コップヘル	持参して使いたい方
	テント、寝袋、マット	持参して使いたい方

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト(動画)を必ずご覧になり、その上で各自工夫してご準備ください

[\[#1キャンプの準備の仕方\]](#) 

[\[#2登山とテント泊\]](#) 

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#) 

[自然に影響の少ない山の登り方とテント設営](#) 

### プログラム(予定)

<b>1日目 7月11日(土)</b> 日出:04:41 AM 日入:7:27 PM 月出:1:04 AM 月入:4:09 PM 月齢:26.0		
9:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション	アイスブレイク、自己紹介、講習の目的と内容の確認
10:30	講義 「プログラムのマネジメント(企画)」	
12:00	昼食(持参弁当)	
13:00	演習 「プログラムの安全管理」 「リスクマネジメント」 「プログラムのマネジメント(企画)」	
15:00	生活環境づくり(テントサイト) 「プログラムのマネジメント」 野外生活技術 指導 安全	野外生活技術のブラッシュアップ
16:30	野外炊事 「プログラムのマネジメント」 野外炊事、野外炊事技術指導	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
18:00	夕食 グループ自炊 片付け	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
19:30	講義・実習 「プログラムのマネジメント」 「プログラムの安全管理」 「環境配慮」 「プログラムの企画」	六甲山YMCAを拠点としたプログラムデザイン
20:30	情報交換機 入浴	
22:00	就寝(テント泊)	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム(予定)

<b>2日目 7月12日(日)</b> 日出:04:42 AM 日入:7:27 PM 月出:1:56 AM 月入:5:21 PM 月齢:27.0		
6:00	起床 野外炊事 ソロ自炊	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
7:30	野外遠征	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
9:00	「プログラムのマネジメント」 プレゼンテーション 指導、評価	
12:00	昼食 ソロ自炊	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
13:00	片付け	野外生活技術のブラッシュアップ プログラムマネジメントの実践
14:30	まとめ	
15:30	自習時間	
16:15	修了試験	筆記試験(論述)
16:45	事務手続き 閉校式	
18:00	終了	

※天候等により予定を変更する場合があります

## LNT7原則

### 原則1 事前の計画と準備(Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

### 原則2 影響の少ない場所での活動(Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
  - ・キャンプサイトは水辺から60m以上離れたところに見つけよう
  - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
  - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
  - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
  - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

### 原則3 ゴミの適切な処理(Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから60m離れたところに見つけよう
- ・トイレは20cm程度穴を掘って行い、終わったらしっかりと埋めよう
- ・トイレットペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から60m離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

### 原則4 見たものはそのままに(Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

### 原則5 最小限のたき火の影響(Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

### 原則6 野生動物の尊重(Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

### 原則7 他のビジターへの配慮(Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう